

CONTENTS

- メディカルスタッフのための疾患講座
中・下咽頭癌治療における嚥下障害への対応の基本 藤本保志 141
- メディカルスタッフのための嚥下ケア講座
COVID-19 症例への嚥下リハビリテーションの実際  藤谷順子 146
- 私の治療方針
Lewy 小体型認知症の嚥下障害
症例提示  唐帆健浩, 他 152
リハビリテーション科医の立場から 國枝顕二郎, 藤島一郎 154
神経内科医の立場から 巨島文子, 倉智雅子 157
実際に行った治療と経過 唐帆健浩, 他 159
- 私の術式
Forestier 病に対する外科的治療
栃木 悟の術式  栃木 悟 162
宮本 敬の術式 宮本 敬 166
- 知っておきたい嚥下訓練 呼吸リハビリテーション
吸気と呼気のトレーニング 俵 祐一 170
- 嚥下機能の評価法の検証
水飲み検査の検証 兼岡麻子 174
- ベーシックサイエンス
咽頭期嚥下生成機構の解明に向けた神経生理研究
—灌流動物を用いた嚥下関連ニューロン活動解析— 杉山庸一郎, 梅崎俊郎 179
- 1枚の写真  唐帆健浩 185
- 書評
動画で学ぶ嚥下内視鏡検査 (VE) —スコア評価と活用法— 唐帆健浩 187
疾患別摂食嚥下障害へのアプローチ DVD 全6巻セット 山脇正永 187

New! 新型コロナウイルス感染症（COVID-19）流行期における嚥下障害診療への注意喚起

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の感染拡大防止には各方面より様々な対策が講じられているが、残念ながら収束の兆しは未だ見えていない。このウイルスは主として飛沫・接触によって伝播するとされ、感染者の体内でもウイルス量が多いのは鼻腔・咽頭（上気道）である。また、エアロゾルを介した感染も報告されている。嚥下障害診療において、上気道粘膜との接触を伴う嚥下訓練や喀痰吸引、内視鏡下嚥下機能検査などの医療行為は咳嗽などの気道防御反射を誘発し、感染リスクの最も高いエアロゾル発生手技に相当する。


日本嚥下医学会は、COVID-19 流行が生じている地域では、嚥下障害診療に携わるすべての医療者が、診療行為に応じた感染リスクに対して最大限に注意を払い、感染経路別予防策を適正に遵守することを推奨する。

日本嚥下医学会（令和2年11月20日改訂）

総説

- 嚥下障害診療（ケア）における COVID-19 の状況と実際の対応 … 木村百合香 188

原著論文

- 喉頭裂を伴う小児嚥下障害に対し干渉波電気刺激による嚥下リハビリテーション治療が奏効した1例 …… 金子真美, 他 193
- 嚥下 CT を用いた嚥下機能検査のバーチャルリアリティ技術利用の試み  …… 上羽瑠美, 他 201
- 嚥下外来における過去3年間の臨床学的検討 …… 釜谷まりん, 他 209
- 経口的切除術後に嚥下障害を呈した中咽頭粘膜下腫瘍症例の術後嚥下動態経過—高解像度マノメトリーによる分析— …… 谷合信一, 他 218

会告—— 137

日本嚥下医学会嚥下機能評価研修会のご案内—— 137

動画サイトのご案内—— 140

日本嚥下医学会の認定する嚥下相談医、嚥下相談員制度について—— 227


投稿規定—— 229

バックナンバー—— 234

日本嚥下医学会入会申込書—— 236

日本嚥下医学会変更届—— 237

購読申込書—— 238

 : 動画配信付き